

【活用にあたって】

我が国の言語文化に関する事項の一つに「語句の由来などに関心をもつ」ということが挙げられています（平成29年告示 小学校学習指導要領）。新聞記事中の言葉は、語源や、その言葉がどのようにして伝わってきたのかを調べるきっかけになることがあります。

言葉の意味については、言葉の前後の内容から、あるいは文章全体から意味を推定した後で、国語辞典で調べるように心掛けると読解力が付いてきます。語彙も豊かになってきます。面倒かもしれませんが、辞書を引くという^{ひと}手間を惜しまないことが大切です。

解答例

問1：不在

問2：市民有志・地主・多くの人

問3：近江商人の心得です。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の3つの「よし」のことです。どうして三者が「よし」なのか調べましょう。

発展：「立場のことなる三者が少しずつ損をして、結果としてうまくおさまること。」（三省堂国語辞典 第7版）。落語・講談からできた言葉です。言葉の由来も調べたいですね。